

## 誓いの言葉

本日は二十歳を迎えた私達のために、このような盛大な式を催していただき、誠にありがとうございます。また、本日も出席を賜りました土屋陽一市長様をはじめ、来賓の皆様にご心より御礼を申し上げます。二十歳という人生の節目を迎え、胸が昂ると共に緊張もしています。私たちがこの日を迎えられたのも、今まで支えてくださった家族や友人、先生方、地域の方々のおかげです。時に厳しく、時に優しく、いつも温かく見守ってくださったのおかげで私たちは成長することができました。重ねて深く感謝申し上げます。

さて、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の拡大により様々な場面で、今まで当たり前だと思っていたことが、当たり前ではないのだということを感じずにはいられなくなりました。この先も予測不可能な事態が私達を当惑させることもあるでしょう。しかし、そんな時でも常に感謝を忘れず責任ある行動と、周囲の人に心を配れる、そんな大人になれるよう邁進して参ります。この先、私達は、それぞれの場所でそれぞれの役割をもって人生を送っていくことなのでしょう。時に悩みながらも、自分の行動に責任をもち、成長し続けられる大人になれるよう、より一層努力してまいります。

以上、簡単ではございますが、二十歳を代表しての誓いの詞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

令和7年1月12日

丸子文化会館会場

(丸子・丸子北中学校区域)

成人代表 内堀妃菜子